

# 小さな探究者

～たのしい おもしろい やってみたい～





不思議に会う  
子どもの世界





play is learning

まなびの「め」が



のびている





Tankyu  
タンキュー！



## もくじ

ごあいさつ

とうきょう すくわくプログラムとは  
13園のすくわく ～探究のあしあと～

探究をとおして

おわりに

## ごあいさつ

中央区教育委員会教育長 平林 治樹

加速度的に変化する時代の中で、様々な人やものと直接的・具体的に関わることなど、子どもの発達に必要な体験を幼児期に十分に確保することは大変重要です。また、小学校以降の学びの基礎を育むという点からも、幼児教育の重要性はより高まっています。

そのような背景の中、区立幼稚園では今年度より「とうきょう すくわくプログラム」をスタートいたしました。各園においては、粘り強くやり抜く力や集中力、創造力や共感力など、非認知能力の育成により重点を置き、保育の在り方を全力で「探究」しております。

この冊子は、その取組の一端をまとめたものです。ご覧いただいた方に、各園の保育実践で、子どもたちと先生方が共に考えながら遊びを深めていった過程を感じていただければ幸いです。

結びに、各園のこれまでのご努力に対して心から敬意を表しますとともに、今後も本取組がさらなる発展を遂げることを願ひましてごあいさついたします。

令和7年度から

すくわくプログラムに取り組んでいます

## とうきょう すくわくプログラムとは

「とうきょう すくわくプログラム」は、すべての乳幼児の「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探究心（わくわく）」を応援する幼保共通のプログラムです。各園の環境や強みを生かしながら、「光」「音」「植物」など各園が設定するテーマに沿って、乳幼児の興味関心に応じた探究活動を実践します。主体的・協働的な探究活動を通じて、非認知能力の向上など、幼児教育・保育の充実を図ることをサポートします。



13園のすくわく

～探究のあしあと～



# 主体的に遊ぶ幼児を育てる

～出会う・感じる・深める活動を通して～



「これはな～んだ」

「なんだろう」

「おおきいきだね」

講師の問いかけに、考えたり感じたりしたことをつぶやく子どもたち

クスノキの枝や葉は折ったりちぎったりすると匂いが  
することを聞き、実際にやってみる子どもたち



「においがしたよ」

「嗅いでみて！」

「こっちはどうかな？」



幼稚園に届いた  
どんぐりからの手紙

活動の「出会い方」を今一度見直し、子どもたちが主体的に動き出す「仕掛け（環境）」を教員が工夫した。子どもたちが何を考え、どのように感じ、動いているのか、じっくり読み取ることで、次の活動へとつながっていく。様々な活動は単発で終わっているのではなく、子どもたちの思考の流れはつながっていることに着目して活動を進めた。

子どもたちが目を輝かせて、活動に向かっていく仕掛けを日々楽しみながら考えていく。

日比谷公園散歩の後に…



拾ってきたどんぐりで  
ゲームをして

公園や園にある土で  
絵の具を作って



拾ってきた石を削って  
絵の具を作って



「さくらのはなびらつかまえた！」

～さくらとの出会いがひろく



子どもの世界～

「とんとん」「すりすり」「できた！」

さくらの実を使って



さくらの木は  
どんな音がするかな？



根っこみ～つけた！  
うんとこしょ、どっこいしょ



木の幹に触れて  
これなんだろう？



色とりどりの葉や木の実から  
イメージを膨らませて…

幼稚園のシンボル。いつも子どもたちを見守ってくれている「さくら」の木。  
春ははなびら、秋は落ち葉…  
春夏秋冬、素敵な贈り物を子どもたちにくれた。  
「み～つけた！」「これなに？」と発見したり、  
考えてやってみたりすることで、自然が  
どんどん大好きになって、遊びがわくわく  
広がった。

さあ、今日も外で遊ぼう！  
どんな発見があるかな？

電子顕微鏡、ライトテーブル等  
多様なデジタル機器の活用



子どもたちの活動が豊かになるように  
講師を招いたシャボン玉ショー



「不思議♥」  
「面白い！」



わくわく体験を広げて

砂 土  
水

砂と水を入れて…  
あれ、  
出てこない？



やった～！  
出た～！

砂遊びの  
ワークショップ

砂自体が  
様々に変わるから  
面白い！  
砂や水の可能性や  
面白さを感じました。



泥粘土の  
ワークショップ

泥粘土は  
力が必要！  
先生たちも  
体当たりで  
遊びました♪



水、流したいけれど…  
落ちちゃうな。  
どうしよう？



寒～い！  
氷が  
あった！

ぶにぶに♥  
楽しいね！

う～ん！  
なかなか…  
取れない…



身の回りにある「砂」「土」「水」  
手足を使って触れると…

「つめたいね」「気持ちいい」

「あれ？」「う～ん？」「やった！」

時には、全身の力を使って挑む姿も！

子どもも 大人も、感じて・考えて・試して…。

一緒に遊び、子どもの思いに触れるうちに

子どもも 大人も、世界が広がる。

# 絵本がっなげる遊び



いろいろなところで  
雨を見つけたよ！



集めた雨で  
雨の色を作ったよ



子どもたちのそばに当たり前にある絵本。  
 お話の世界、生き物や花の世界、音の世界など、  
**たくさんの**  
**「わくわく」「どきどき」「どうして？」**  
**を味わわせてくれる。**

その世界と遊びはいつもつながっている。  
 教師にとっても当たり前にある絵本について、  
 見つめ直し、保育に取り入れると、子どもたちの  
 遊びが広がり、深まった。

さあ、今日はどんな絵本をみようかな♪

幼稚園玄関に OPEN した  
 移動図書館  
 親子での楽しい時間



絵本作家の先生や紙芝居制作会社の方を招いた研修会



# 姿を変える水との出会い



部屋いっぱいに広がる色とりどりのシャボン玉。

「わあっ!」「きれい」「おっきいのがある!」「かわいい」

「こっちはむらさきいろ」「ひかってる!」「さわってみたいなあ」

夢の中のような、心弾む体験。

美しい感性が磨かれ、あふれ出る言葉一つ一つが大発見。



「いきものいっぱいのおみにしたい!」  
どこまでも広がるイメージの世界。  
アイデアを形にした、自分だけの海。



「おなじむらさきだけど、ちょっとちがうね」  
「どうしてかなあ?」  
感じたことを言葉にして、友達と比べてみて、考えてみて、不思議は探究の出発点。



子どもはみんな水が大好き。だけど、水っていったいなんだろう? 変幻自在に姿を変える水に子どもたちを会わせ、水の面白さ、不思議さ、美しさをどっぴりと味わってほしい、そう願ってスタートした、探究の旅。

「こうすいやさんです」  
園庭の草花とフルーツの香りを添えて。

「そらもかきたいな」  
子どもはみんなアーティスト。  
「おみずがぶにぶにになった!」  
寒天に大変身。  
「つめたいけど、とうめいできれい!」  
冬の朝、見つけた園庭の氷は、まるで宝石。



一人一人の「やってみたい！」を目指して  
～身近な自然との関わりを通して～



「すくすくガーデン」で

「やってみたい！」があふれる！



ジュース屋さんにとッピングする  
草花はあるかな？  
必要な分だけ摘んで、大切に使う。



幼稚園の自然や遠足で持ち帰った自然を、  
自分たちの遊びに取り入れた。  
そこには、探究する子どもたちの姿が。  
遊びの楽しさや面白さが広がり、深まる。  
自然の色や形、香りや触り心地…  
子どもたちが五感を使って自然に関わる中で、  
たくさんの発見に心をワクワクさせていた。  
「この草花を使って、こうしてみよう」  
「もっとやってみたい」「もっと知りたい」  
夢中になって遊ぶ子どもたちの動きや表情から、  
心の声も聞こえてきた。

プロ・ナチュラリストの佐々木洋先生を招いて  
園内の自然について学ぶ教員向けの研修会を開催



「これなあに?」「どうして?」  
から「みてみて!」へ  
～疑問からつなぐ探究活動～



「できた!」

「そーっと」

「いろけんきゅうじょ」で  
色水の実験をする子どもたち



おひさまの光で  
キラキラしているよ



穴の開いている  
葉っぱを見付けたよ

探究するってどういうこと?

夢中になって遊ぶ子どもたちの「なんで?」「面白そう!」

「やってみたい!」にじっくりと寄り添うと、遊びの中に

たくさんの探究の芽を発見!!

色の不思議、自然物の不思議、光の不思議など、

日常にありふれた事象に目を向けて、子どもたちと

一緒に心を動かしながら保育をしていると、

夢中になって遊ぶ子どもたちの姿が溢れるようになった。

「関わる」「感じる」「考える」「表現する」生活や遊びから

にじみ出る探究の芽を大切に、ぐんぐん伸びていきますように…

子どもたちの興味に合わせて…  
「しぜんけんきゅうじょ」



ナチュラリストを講師に招いて  
園庭をリニューアル



# ～自然と遊ぶ・自然と暮らす～



「いらっしゃいませ」

「このお花もおすすめです！」

花の色の美しさに惹かれ、  
お花屋さんごっこが始まりました  
いい香りも漂っています



カブトムシやクワガタは  
ぼくたちの友達！  
一緒に遊ぼう！



“じゃらじゃら”“ぱりぱり”  
どんぐりや葉っぱの  
おいしいごちそうができたよ

木、花、虫、空、光、そして風・・・

子どもたちの五感をくすぐり、心を魅了し、探究の扉をたたくのは  
すぐそばにある“自然”。

私たちも、横に並び、同じ目線で、驚き、発見する。

自然は変化し、思い通りにならないからこそおもしろい。

今日も子どもたちは自然と遊び、自然と暮らす。

そこに寄り添う私たちでありたい。

自然物が身近になる環境づくり 外部講師による幼児向け講座と教員向け研修会



～昆虫大魔王と遊ぼう～

# ～だいすき！私たちの庭～



かわいいお花、  
集めよう！

落ち葉のお風呂だ  
ぱしゃーん！

みかんの皮で足湯屋さん！



いいもの見つけた！  
調べてみよう！



月島幼稚園は、自然が豊か。

メダカがスイスイ、ビオトープ。  
緑の芝生にチョウやトンボ。

サクラにイチヨウにミカンの木。  
木の種類は40種！

園庭をみんなで探検して楽しもう！  
月島っ子は、みんなが小さな探究者！



日陰の下で、  
泥あそび！



泥の足あと  
ぺた！

ふわふわ！いい香り



保護者も一緒に芝生のお世話



# 小さな研究者たちが見つけた “いろ”と“かたち”



5歳児の保育室、そこはまるで研究所。  
スポイトを片手に、色と色を混ぜ合わせ、  
“自分だけの色”を作っていく。

**「初めての色が作れちゃった！」**

…その瞬間、子どもの瞳がキラリと輝く。

**「○○ちゃん、すごいね！」**と

共に喜んでくれる、仲間がいる。



**“あっ、おんなじだね！”**

幼稚園で一番小さな3歳児。

花を揉みだして自分で作った色水は、宝物のよう。  
“友達と、おんなじ！”に気付いた瞬間は、すごく嬉しい。

よく見る。比べる。同じや違いに気付く。

これは、探究の世界への第一歩。

**時が経つのも忘れて、熱中。**

いろいろな道具を使えるようになった、4歳児。

身の回りのものを自由に持ち出し、投影機に乗せて  
スクリーンに光や影を映し出す。

面白い形ができると、思わずくすっと笑みがこぼれる。  
「こうしたら、どうなる？」「次はこうしてみたい！」と  
試行錯誤が止まらない。



身の回りにある、  
たくさんの“いろ”や“かたち”。  
子どもたちの手にかかれば、どんな物も遊びに  
変わる。

遊びには、正解もなければ、間違いもない。  
先生も、答えは教えない。  
子どもと一緒に「なぜ？」を面白がりたいたから。

「自ら考え、解決していく力」は  
大人になっても色あせることはない。



# すてきな「音」の世界♪ ～感じるままに 思いのままに～



みんなは すてきな 音楽隊♪  
先生、音楽かけて！  
次はどれにしようかな？  
見て見て！こんなこともできるよ！

ぺろぺろキャンディーの形だ



かえるの声もするね

鳥さんの  
声がするよ

僕のはこんな音！  
僕のはこんな音！  
違うね！  
本当だね！



いつでも どこでも 誰でも  
音を楽しめる 場所がある  
それだけで 心は 弾む♪  
体も 弾む♪  
誰かが あちらで 音を鳴らせば  
こちらで 誰かが 別の音を奏でる  
その音が 合わさると 始まるコンサート  
私も！ 僕も！と 楽しい音が集まった

小学校の音楽会に招待してもらい、  
素敵な歌と演奏を聴いてきました。



「なかよしリズム」は、  
いつでも どこでも 遊べる遊具♪



色っておもしろい！



シャボンの泡に絵の具を  
一滴垂らしてみる。  
「あじさいみたい」  
「葉っぱにのせてみよう！」



カラーセロファンを  
重ねてみる。  
「あっ！見て！」  
色が変わったよ！



ゼリーを合わせて  
見つけた自分色。  
太陽の光に「キラキラ」  
「宝石みたい！」

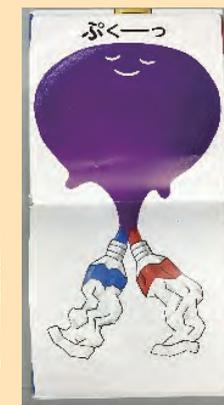
子どもたちを取り巻く世界はいつもカラフル。  
「きれい」「ウキウキする」「たのしい」いろいろな声が聞こえてくる。  
子どもたちの言葉から広がる色の世界に耳を傾けてみよう。  
「不思議？」「どうしてだろう？」「こうしてみたらどうかな？」  
教師も一緒になって気付きに寄り添うと、新たな思いが無数にあふれ出す。  
子どもたちの可能性は無限大。  
明日はどんな色の世界に出会えるのかな？

「ゆらゆら揺らしてみると、  
にじいろトンネルがつながっていく！」

「あっちのトンネルとつながるかな？」

思いついたことを、いろいろな素材で  
繰り返し試してみる子どもたち。

「やりたい」がいっぱい！





泥粘土あそび  
「固まる」って面白い～

「やわらかくて きもちいいね」  
「ティラノサウルスつくろう」  
「ほら たくさん マル つくったの」



固まった泥粘土をすりつぶしてみたら  
「ふわっふわの粉になったよ!」「えっ 本当だ!」  
「固まる」をテーマに、どうして?わくわく!の探究が始まりました



「先生、昨日の(柔らかかった)粘土 固まったよ」  
「カチコチで、板で叩いてもなかなか割れないよ」

泥粘土遊びで 造形を楽しむだけでなく、時間が経つと「固まる」ことに気付いた子どもたち。

水に入れたら戻る?

細かく削ったら? 油粘土だったら?

紙粘土だったら?

不思議を見つめる場と時間。

共に発見を楽しむ友達と教師の存在。

もっと知りたい、こうしたらどうなる?

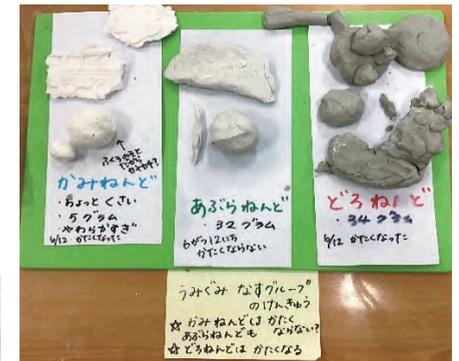
やってみよう!

がつながると・・・

興味が深まり、心が揺さぶられた。

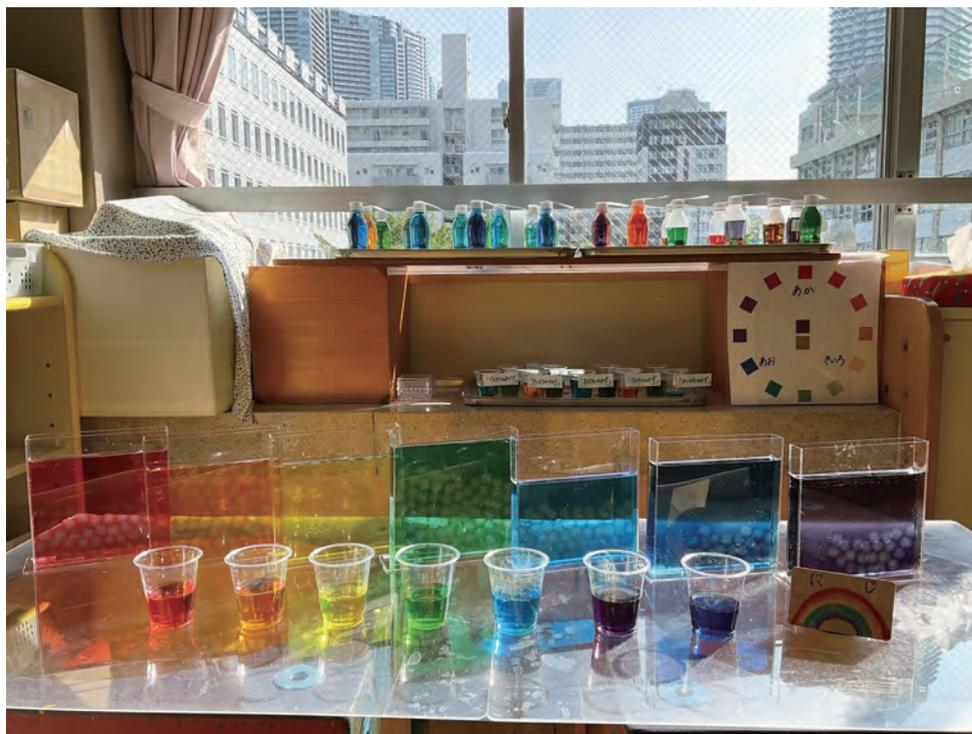


削って出来た粉 → 粘土の粉に水を入れ → 泥粘土に戻ったみたい



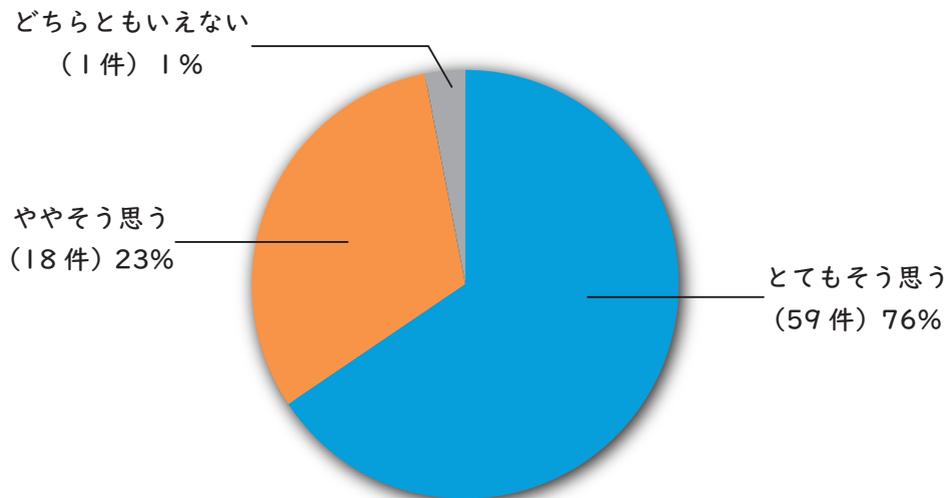
身近な自然物も使いながら、おもいおもいに造形遊びをしました

# 探究をとおして



「とうきょう すくわくプログラム」に取り組んだ、区立幼稚園（13園）の先生方（78名）にアンケートを行いました

# 教師自身に新しい発見があった



幼児がじっくり探究するためには、幼児がこだわっていたり、考えたりしている姿やつぶやきを逃さないことが大切だと感じた。また、教師からも適切な問いかけをしていくことや、教師が探究を楽しむことなども、大切であると改めて感じた。

子どもと一緒に素材に触れて発見を楽しんだり、どうなるかと予想しながら援助を考えたりすることができた。



子どものつぶやきに耳をすませて

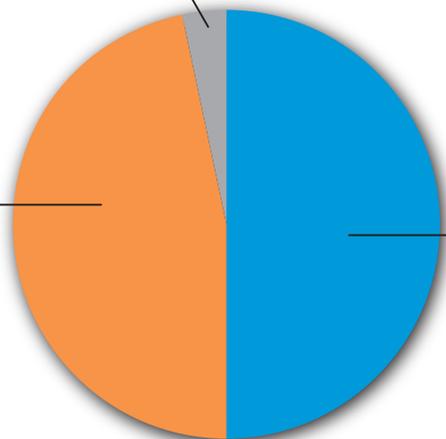


## 探究活動を進めるうえで、必要な遊具や用具を整えることができた

どちらともいえない  
(2件) 2%

ややそう思う  
(31件) 40%

とてもそう思う  
(45件) 58%



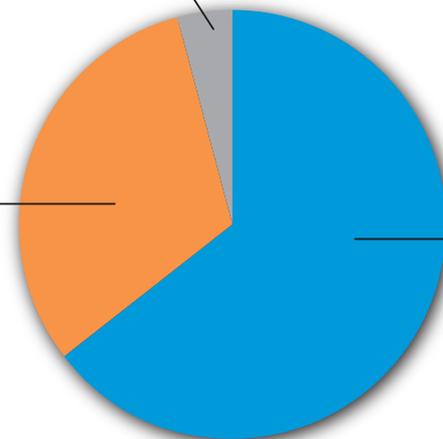
## 幼児が好奇心や探究心をもって取り組んでいた

「なんで?」「どうして?」「今度はあれをやってみよう!」「できた!」など

どちらともいえない  
(2件) 2%

ややそう思う  
(21件) 27%

とてもそう思う  
(55件) 71%



### < 購入して効果的だったもの >

電子顕微鏡、スクリーン、遮光シート、自然観察容器、指絵の具、押し花シート、造形の材料、日よけパラソル、蓄電池 (モバイルバッテリー)、子ども用トイカメラ、テント、大型絵本、ライト、マイクロSCOOP、透明ボード、試験管、透明ケース など



すくわくプログラムの予算で購入した教材で、幼児が虫の様子や模様を夢中になって見ていた。自分が気付いたことを教師や友達に伝える姿が見られ、生き物を見る視点が広がった。



みつけた! 考えた! やってみた!

園庭のミカンを食べた後、その種を植えながら植物の生長を楽しみにしていた。いっこうに発芽しない様子を見て、その理由を自分なりに考えたり、教師に聞いたり、調べようとしていた。

一人の発見が自然に広がりを見せ、教師が予想する以上の活動の広がりがあった。



いいことみつけた!



## おわりに 園長先生から

子どもたちの遊びや生活には好奇心や探究心が存在し、それを周りにいる教師や保護者がどのように関わったり拾い上げたりするかが、その先の広がりや発展に大きく影響することが改めて分かった。

また、子どもが好奇心や探究心をもって物事に関わる姿を見る中で、自分自身も知らないことの多さに気づかされて、それがきっかけとなり調べて分かる楽しさを感じた。

この絵本を読んだら、この遊びをするのではなく、一冊の絵本から、様々な遊びに展開（製作、音楽、ごっこ遊び、表現、栽培など）する姿が各学年で見られた。幼児の興味・関心から教材や環境を準備することで、遊びの幅が広がり、深まることをあらためて感じた。

砂場に水を流して「川」を作っていた際に、他の園児が「もっと深く掘ればいいんじゃない？」と提案し、みんなで泥だらけになりながら試行錯誤を始めていた。ただの遊びが「どうすれば水が流れるか」という仮説と検証の学びに変わり、知的な育ちを強く実感した。

初年度なので、「これはすくわくなのか」と考えてしまうことがあったように思う。それは、幼児の育ちを十分に読み取るに至らなかったからでもあるが、幼児が好奇心や探究心をもって活動しているとはどのような姿のことなのか、などについて、園内で協議をする必要があるかもしれない。いろいろな教師の捉えを聞き、個々の教師の中で改めて好奇心や探究心について考え、取り組むことが必要である。



### ♡ Special Thanks ♡

泰明幼稚園、中央幼稚園、明石幼稚園、京橋朝海幼稚園、明正幼稚園、日本橋幼稚園、有馬幼稚園、久松幼稚園、月島幼稚園、月島第一幼稚園、月島第二幼稚園、晴海幼稚園、豊海幼稚園、指導室幼児教育担当専門幹

### 「小さな探究者 ～たのしい おもしろい やってみたい～」

2026年3月発行

発行：中央区教育委員会事務局学務課

〒104-8404

東京都中央区築地一丁目1番1号

電話 03 (6278) 8163

刊行物登録番号  
7-089

リサイクル適性®  
この印刷物は、紙へ  
リサイクルできます。

